

「消費生活に関するパネル調査」について

慶應義塾大学商学部 教授／「消費生活に関するパネル調査」研究会 主査 樋口 美雄

「消費生活に関するパネル調査」は、1993年に第1回調査を開始し、2017年に第25回調査の実施を迎えました。1993年に1500名の回答者からスタートし、その後、1997年、2002年、2008年、2013年に回答者を追加しながら、本年も約2000名の方が回答くださっております。

本調査は、毎年、家計や生活の様子などを詳細に尋ね、20年以上の長期にわたって継続しており、世界的にみても貴重な調査と評価されるようになりました。そのような評価をいただけるのも、調査にご協力いただいている回答者の皆様、調査実施に尽力くださっている中央調査社および調査員の皆様のおかげです。改めて感謝を申し上げます。

2017年12月の公益財団法人家計経済研究所の解散に伴い、本調査については慶應義塾大学経済研究所附属パネルデータ設計・解析センターが継承することになりました。慶應義塾大学経済研究所附属パネルデータ設計・解析センターにおいても、引き続き調査を実施するとともに、調査データに基づいた研究を進め、個票データの研究者への提供も継続し、これまでと同様に広く成果を社会に還元していきます。調査の実施・運営の主体は変わりますが、今後とも「消費生活に関するパネル調査」をどうぞよろしく願いいたします。